

# 1. 現状把握

## 1.1 菰野町の現況特性の整理

### ①地勢

#### (1)位置、地形

本町は三重県の北西部に位置し、北はいなべ市、東と南は四日市市に、西は滋賀県甲賀市と東近江市に接しています。

四日市市中心街へは約 10km、名古屋市中心街へは約 40km の位置にあります。

菰野町は東西 13km、南北 10.6km で町の面積は 107.28km<sup>2</sup> です。

地形は西から「山地—台地・低地」となっており、西側の山地は標高 1,000m 以上の山々が連なり、急斜面が形成されています。

台地・低地については、朝明川、海蔵川、三滝川が作った河成低地が鈴鹿山麓に広がっています。

#### (2)気象

菰野町の気候は比較的温暖で、年間平均気温が 15.8℃、最高平均気温が 26.5℃、最低平均気温が 7.0℃となっています。また、最高気温は 36.5℃（8月）、最低気温は-4.7℃（1月）となっています。

年間総降水量は 2279.5 ミリメートル、年間降水日数は 125 日、一日最大降水量は 313.0 ミリメートル（9月）となっています。また、月別の総降水量が最も多いのは 9月で 611.5 ミリメートルとなっています。

（出典：平成 24 年度菰野町町勢要覧「気温と降水量／平成 23 年」）

## ②人口

### (1)人口・世帯数

平成 25 年（2013 年）5 月末現在で、人口 41,380 人、世帯数 15,300 世帯となっており、昭和 35 年（1960 年）からは人口がほぼ 2 倍となっています。

人口は昭和 35 年頃から平成 22 年（2010 年）まで順調に増加してきましたが、近年人口の伸びは鈍化し、国立社会保障・人口問題研究所によると、今後は、平成 27 年（2015 年）をピークとして停滞・減少の傾向が推測されます。

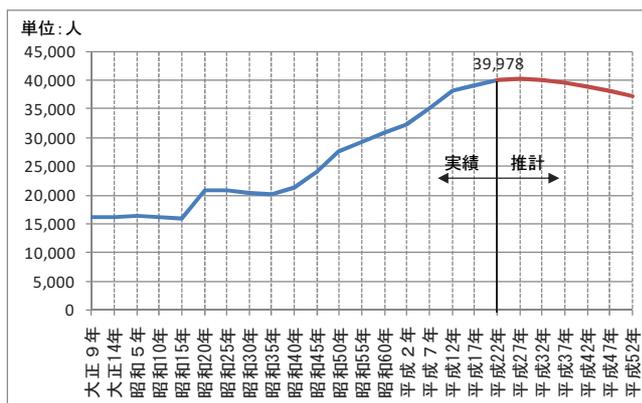


図 菰野町の人口の推移と将来人口

資料：国勢調査、将来人口推計（平成 25 年 3 月公表、国立社会保障・人口問題研究所）

### (2)年齢階層別の人口構成

年少人口は、昭和 40 年（1965 年）以降増加傾向を示していましたが、昭和 55 年以降減少に転じ、平成 7 年（1995 年）から平成 12 年（2000 年）は増加し、その後再び減少に転じています。

生産年齢人口は増加を示していましたが、平成 12 年から平成 17 年（2005 年）にかけてわずかながら減少しています。

老年人口は一貫して増加しており、平成 7 年までは年少人口を下回っていましたが、平成 12 年からは年少人口を上回り、急速に高齢化が進んでいることが伺えます。国勢調査による平成 22 年 10 月時点での高齢化率は、22.6% となっています。

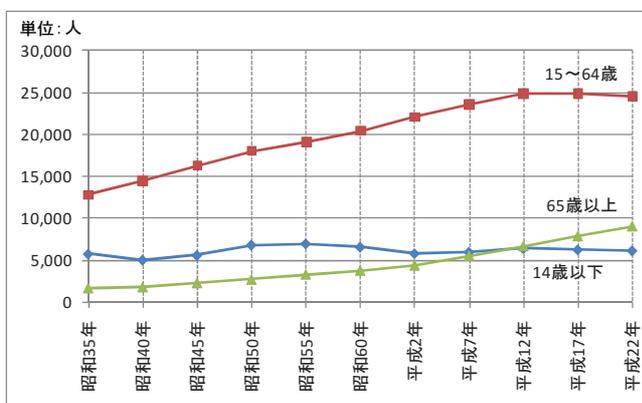


図 菰野町の年齢階層別人口の推移

資料：国勢調査

### (3) 昼間人口と通勤・通学流動

平成 22 年（2010 年）国勢調査によると、夜間人口 39,978 人に対して、昼間人口は 34,216 人となっています。昼夜率は 0.856 となっており、他の自治体から菰野町内へ通勤・通学での流入人口よりも、菰野町から他の自治体へ通勤・通学での流出人口の方が多くなっています。

町民の通勤・通学先では、町内が 7,226 人と最も多く、次いで四日市市の 6,803 人、いなべ市の 1,559 人、県外の 1,059 人となっています。

一方、町内へ通勤・通学する人の居住地では、町内に次いで四日市市が 3,759 人、いなべ市が 669 人となっています。

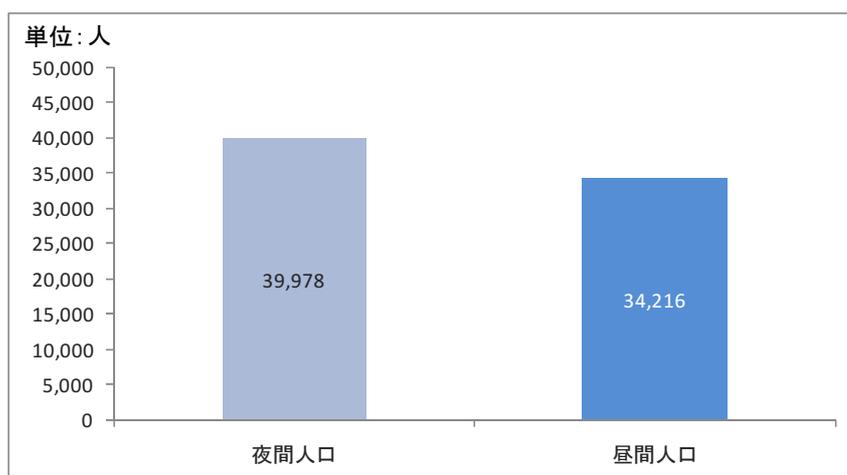


図 菰野町の夜間人口と昼間人口の比較

資料：国勢調査

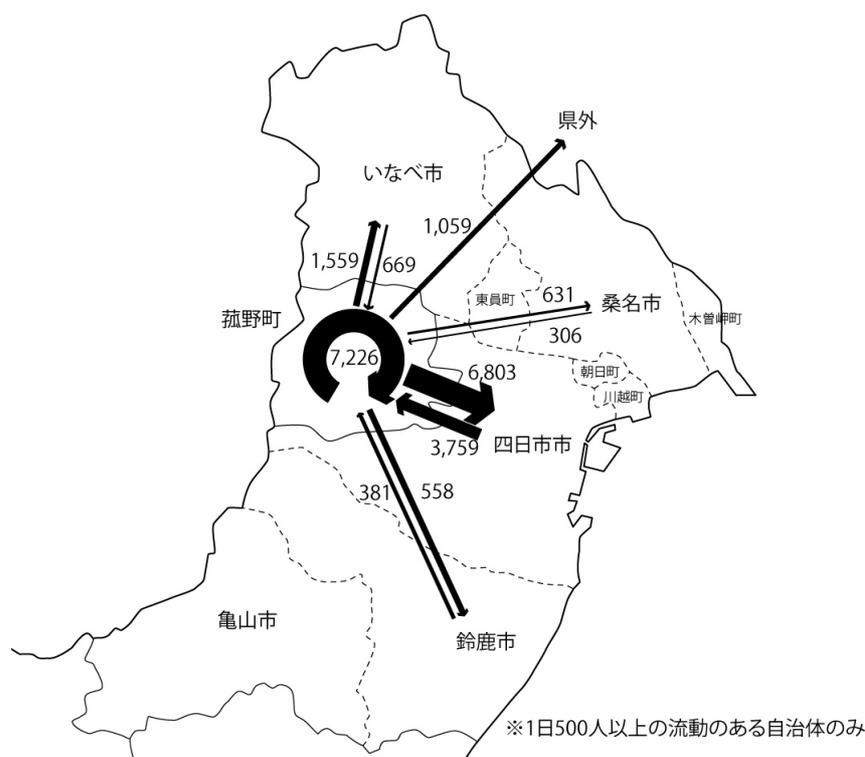


図 15 歳以上の通勤・通学者の流動分布

資料：国勢調査



## ②混雑度

混雑度とは、交通量（台/日）÷交通容量（台/日）の式により算出される道路の混雑状況を表したものです。この算出式で用いられる交通容量とは道路上を一定のサービス水準のもとに走ることができる自動車の量を表したもので道路の規格により定められます。

菟野町内の国・県道では、国道477号の(県)菟野東員線以東、国道306号の(県)田光四日市線以南、(県)四日市菟野大安線で混雑度が1を超えています。

(県)千草永井線、(県)田光四日市線、(県)平津菟野線の一部区間でも混雑度が1.25を超えています。これは道路幅員が6m未満と狭いことによるものです。

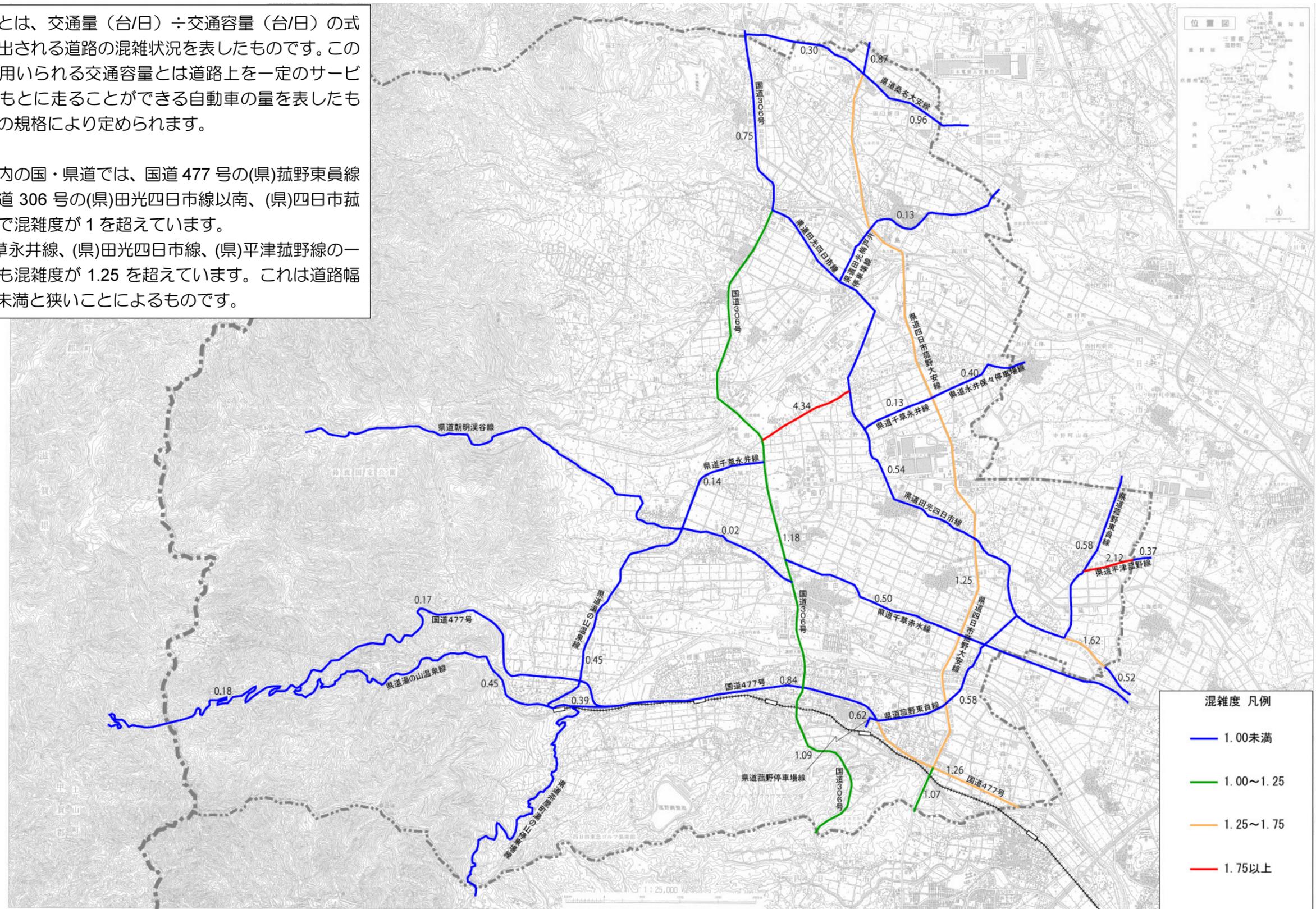


図 国・県道の混雑度

資料：平成22年道路交通センサス箇所別基本表より作成

### ③大型車混入率

菰野町内の国・県道では、(県)四日市菰野大安線で 20% を超えている他は、交通量の多い国道 477 号の(県)菰野東員線以東、国道 306 号では、大型車混入率は 15%以下となっています。

国道 477 号の(県)湯の山温泉線以西では、大型車交通量は 12 時間で 232 台であるものの、交通量全体が 945 台となっているため大型車混入率は 24.6%と高くなります。その他の県道ではいずれも 10%以下となっています。

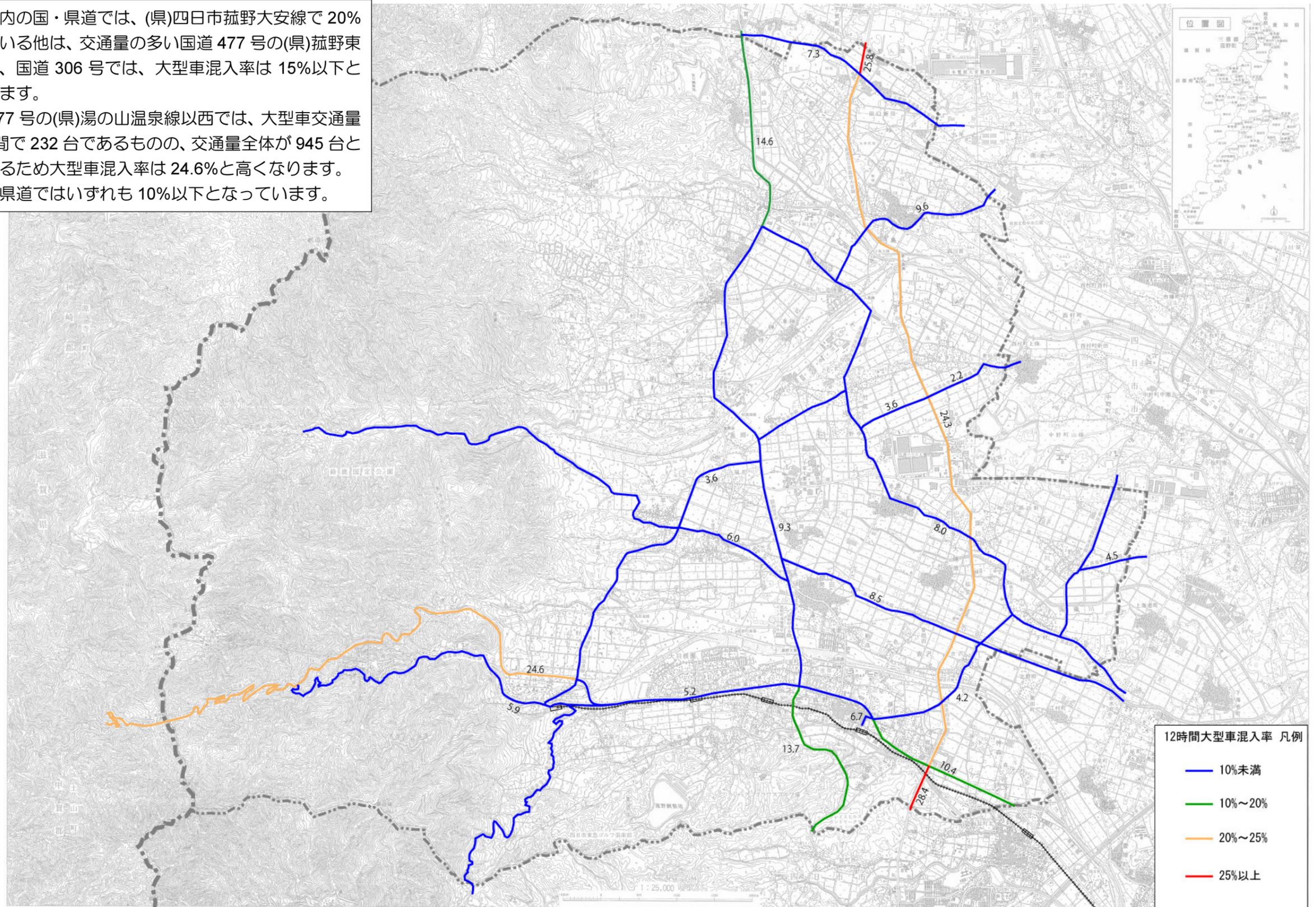


図 国・県道の大型車混入率

資料：平成 22 年道路交通センサス箇所別基本表より作成

#### ④交通事故発生状況

町内では、過去3年間に計647件の交通事故（人身事故）が発生しています。  
（年間平均約216件）

過去1年間に発生した交通事故の種類別の発生地点を右の図に示します。菟野町では特に高齢者の交通事故が多くなっています。

箇所別では国道306号、国道477号（(県)四日市菟野大安線交差～国道306号交差間）、(県)田光四日市線で事故が多くなっています。

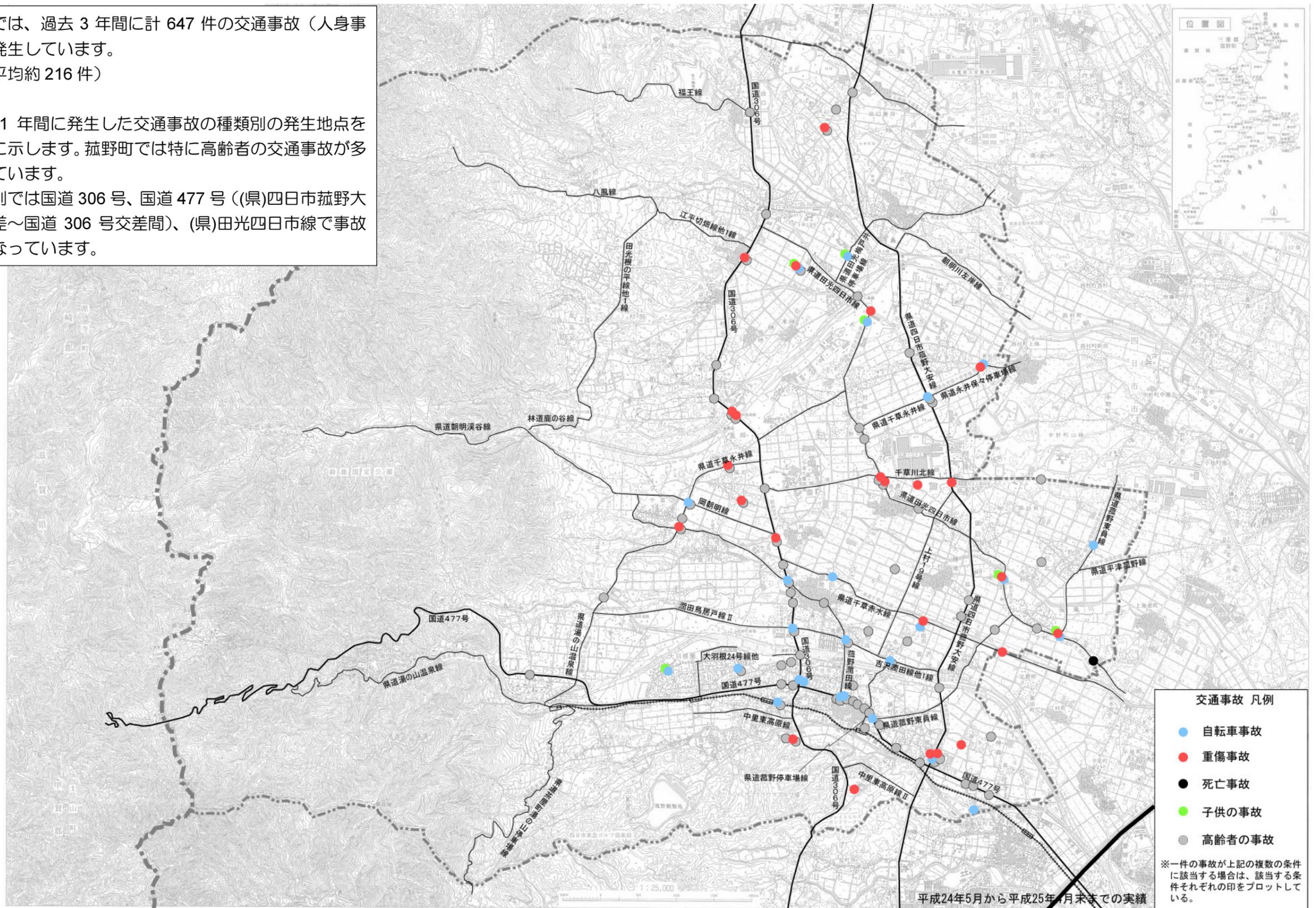


図 町内の過去1年間の交通事故発生箇所と事故の種類

資料：三重県警資料（平成24年5月から平成25年4月末まで）より作成